

国際医療福祉大学成田病院について

2024年3月11日（月）

国際医療福祉大学成田病院の概要



【敷地面積】 48,365坪 (約16ヘクタール)

【病床数】 642床 (一般病床600床、精神病床40床、第一種感染症病床2床)

【診療科 (37) / センター (12)】

循環器内科、心臓外科、血管外科、呼吸器内科、呼吸器外科、消化器内科、消化器外科、脳神経内科、脳神経外科、整形外科、リハビリテーション科、腎臓内科、腎泌尿器外科、糖尿病・代謝・内分泌内科、アレルギー・膠原病内科、感染症科、産科、婦人科、総合診療科、腫瘍内科、血液内科、緩和医療科、心療内科、精神科、小児科、小児外科、乳腺外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、歯科口腔外科、麻酔・集中治療科、病理診断科、臨床検査科、放射線科 (診断・核医学・治療)、救急科

予防医学センター、脊椎脊髄センター、消化器病センター、リハビリテーションセンター、血液浄化 (透析) センター、脳卒中センター、創傷治療センター、緩和ケアセンター、国際臨床感染症センター (感染症科/感染制御部)、遺伝子診断センター、国際遠隔診断センター (放射線診断/病理診断/内科診断)、がん放射線治療センター

病床数

- ・開院以降、段階的に増床し、2022年4月に許可病床を615床に増床した（運用病床445床）。
- ・また、ICUの増床のほか、手術室の増室など、設備拡充を順次進めている。

- ✓ 2020年3月16日、開院（許可病床数322床）
（4月1日の開院予定を国・県からの新型コロナ患者受入れ要請に沿って前倒し開院）
- ✓ 2020年5月1日、予防医学センター開設
- ✓ 2021年4月、許可病床を486床に増床（一般454床、精神30床、感染症＜1種＞2床）
- ✓ 2022年4月、許可病床を615床に増床（一般573床、精神40床、感染症＜1種＞2床）
- ✓ 2022年5月、ICUを10床（+2床）に増床、6階C病棟（48床 整形外科病棟）を開棟
- ✓ 2022年10月、手術室を13室（+2室）に増室

- ✓ 看護師の採用を進め、順次運用病床数を拡大していく予定。
なお、2023年度中にICUを12床に増床する方向であるほか、NICUの稼働等により、フルオープンに向けた病床拡大を順次進めていく。

従業員数

- ・2024年2月時点で、1,480名の職員が当院に従事している。
- ・職種毎の内訳は以下のとおり。

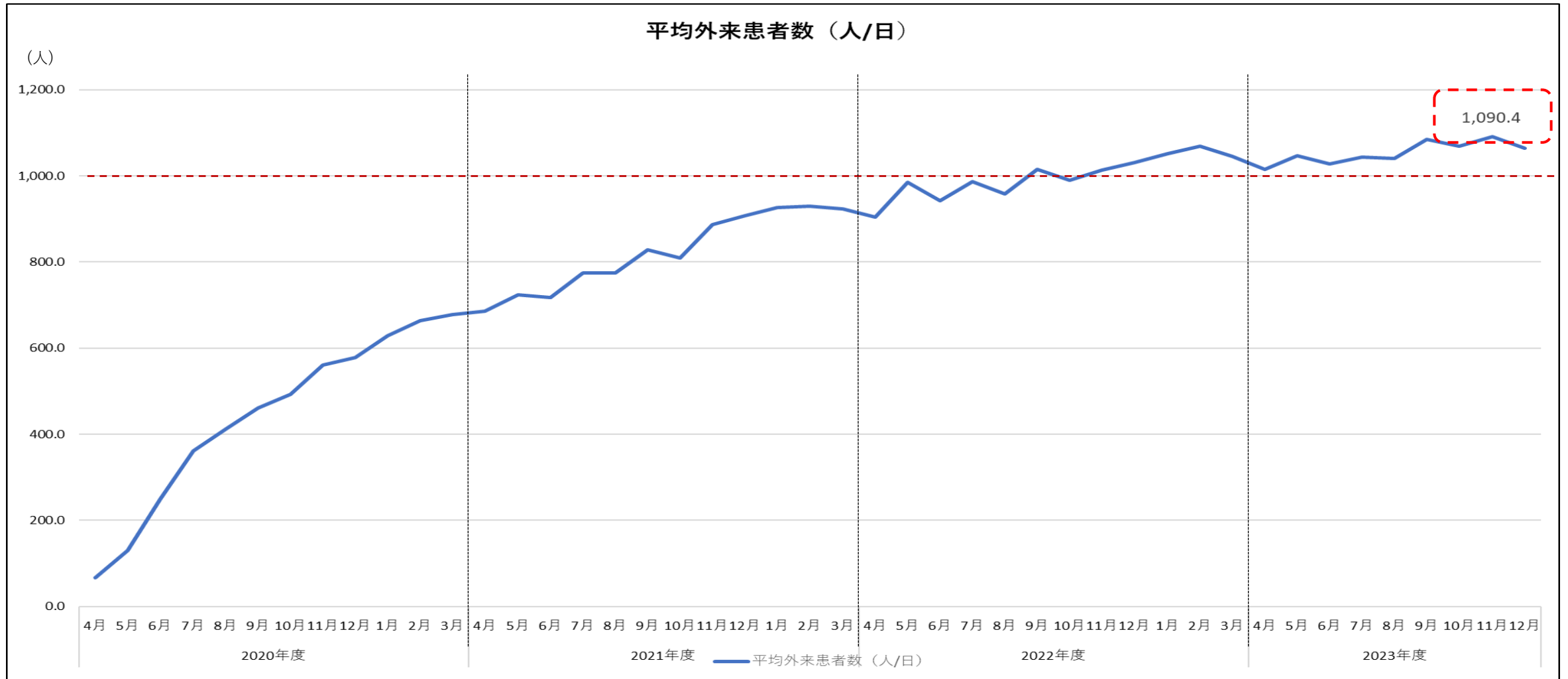
2024年2月1日現在

(人)		(人)	
医師※	280	臨床工学士	13
看護師	501	歯科衛生士	3
コメディカル	280	救急救命士	3
薬剤師	43	臨床心理士	1
放射線技師	43	視能訓練士	5
検査技師	40	薬剤助手	10
リハ	47	看護補助	72
その他	107		
栄養室・レストラン	55	清掃	60
事務・医療事務	270	設備営繕	4
その他	94	誘導案内	16
合計	1,480	電話交換	5
		運転手	6
		保育士	3

※医師に初期研修医43名含む

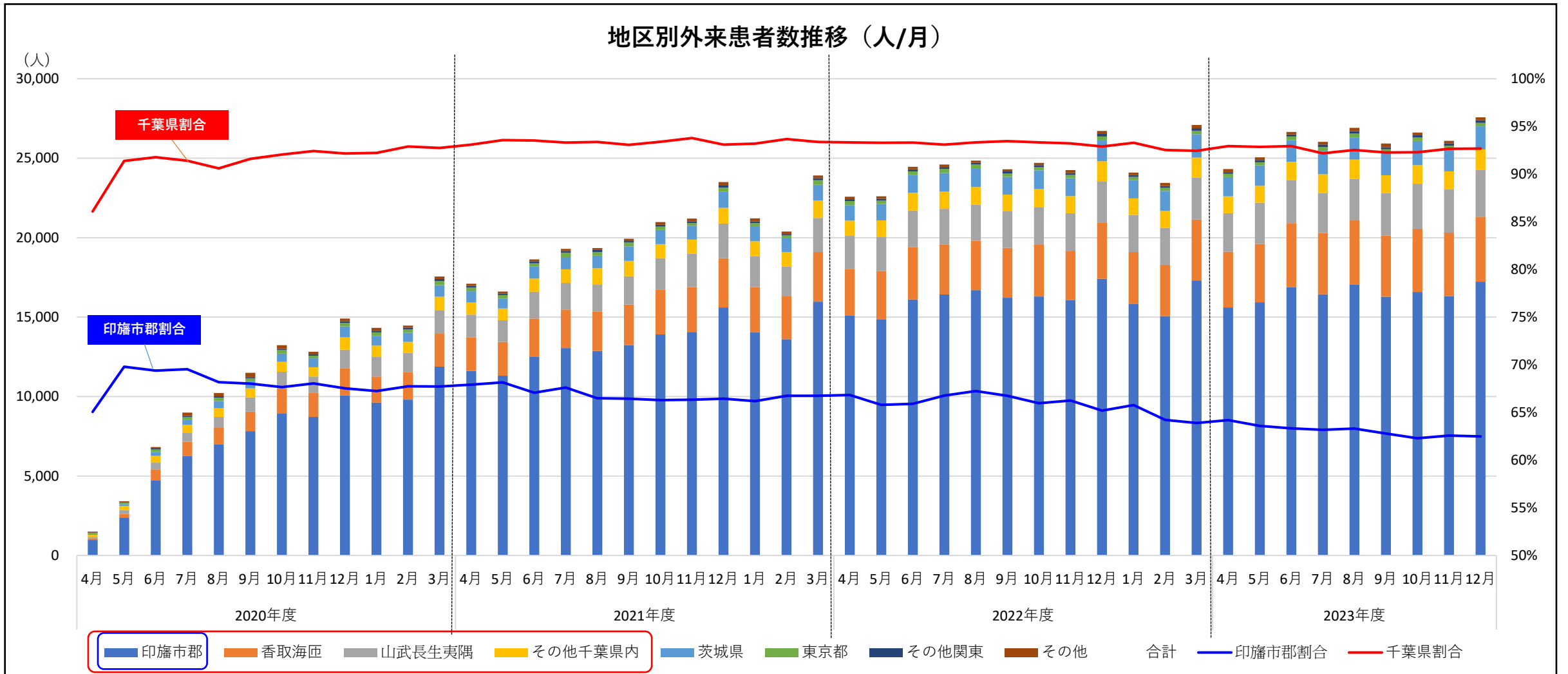
平均外来患者数の推移（人/日）

- ・開院以降増加基調にあり、2022年11月以降毎月1,000人/日を超えて推移。2023年11月が平均1,090人/日とピークであったが、最近では1日単位で1,300人を超える日も出ている。



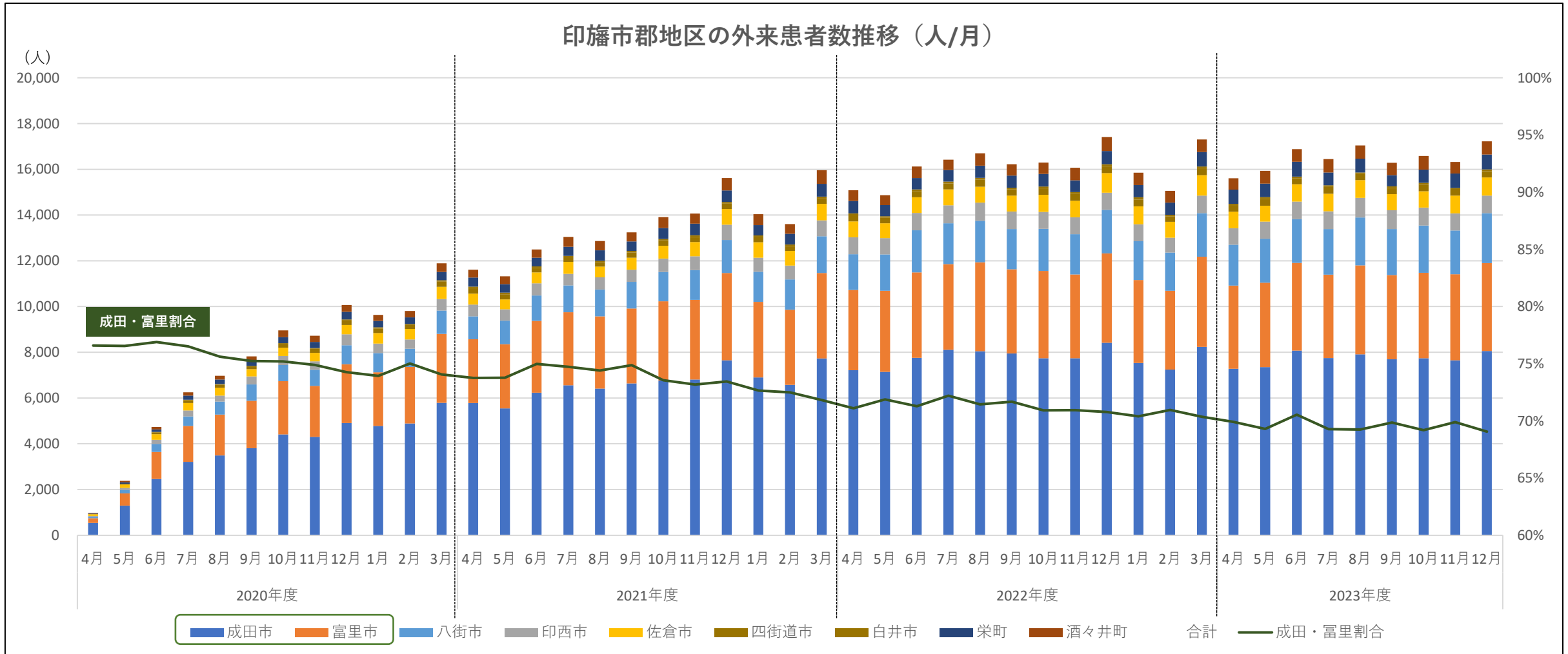
(参考①) 地区別外来患者数の推移 (人/月)

- ・ 9割強が県内からの外来患者で、印旛市郡地区の患者は6割強で推移している。
(2023年度：印旛63.1%、香取海匝14.9%、山武長生10.2%、その他県内4.4%、茨城5.3%、東京0.9%、他1.2%)
- ・ 印旛市郡地区の患者数は2022年度以降横ばいだが、圏外患者数増加に伴い相対的に割合は減少。



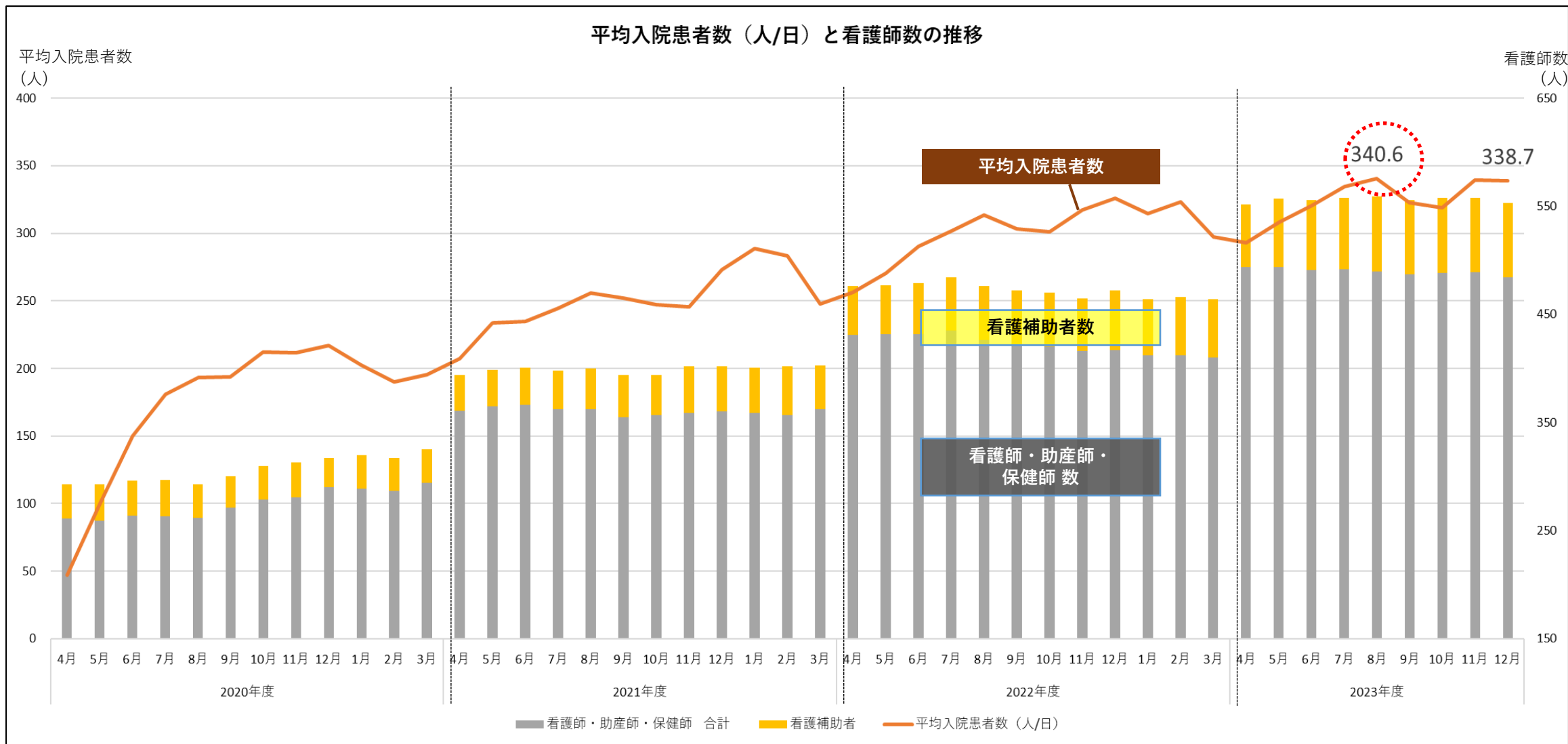
(参考②) 印旛市郡地区の外来患者数の推移 (人/月)

- ・ 印旛市郡地区では、当院が構える成田市・富里市が70%程度。(印旛地区を100とする)
 (2023年度：成田46.9%、富里22.7%、八街12.1%、印西4.7%、佐倉4.5%、四街道1.7%、白井0.5%、栄3.6%、酒々井3.4%)



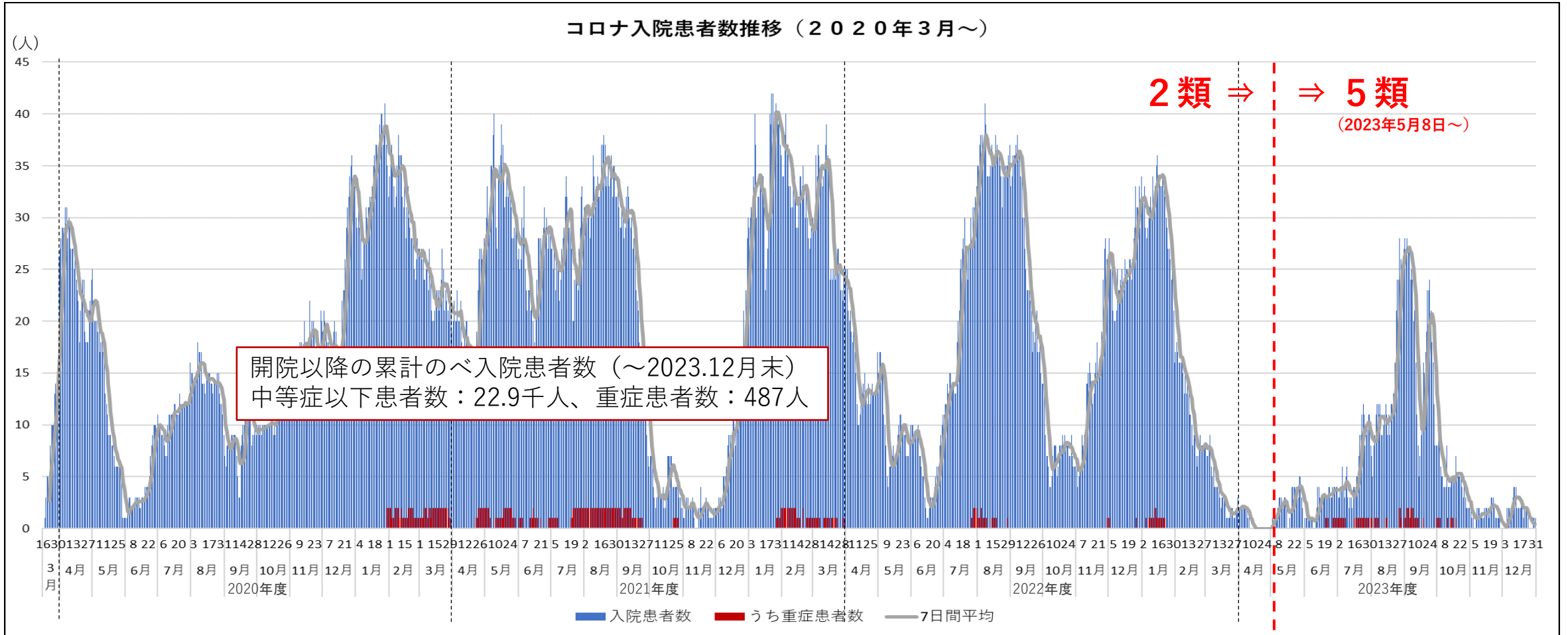
平均入院患者数の推移（人/日）

- ・ 看護師の採用・育成により段階的な運用病床拡大を進めており、入院患者数は増加基調。
- ・ 2023年8月が平均340人/日とピークであったが、最近1日単位で400人を超える日も出ている。



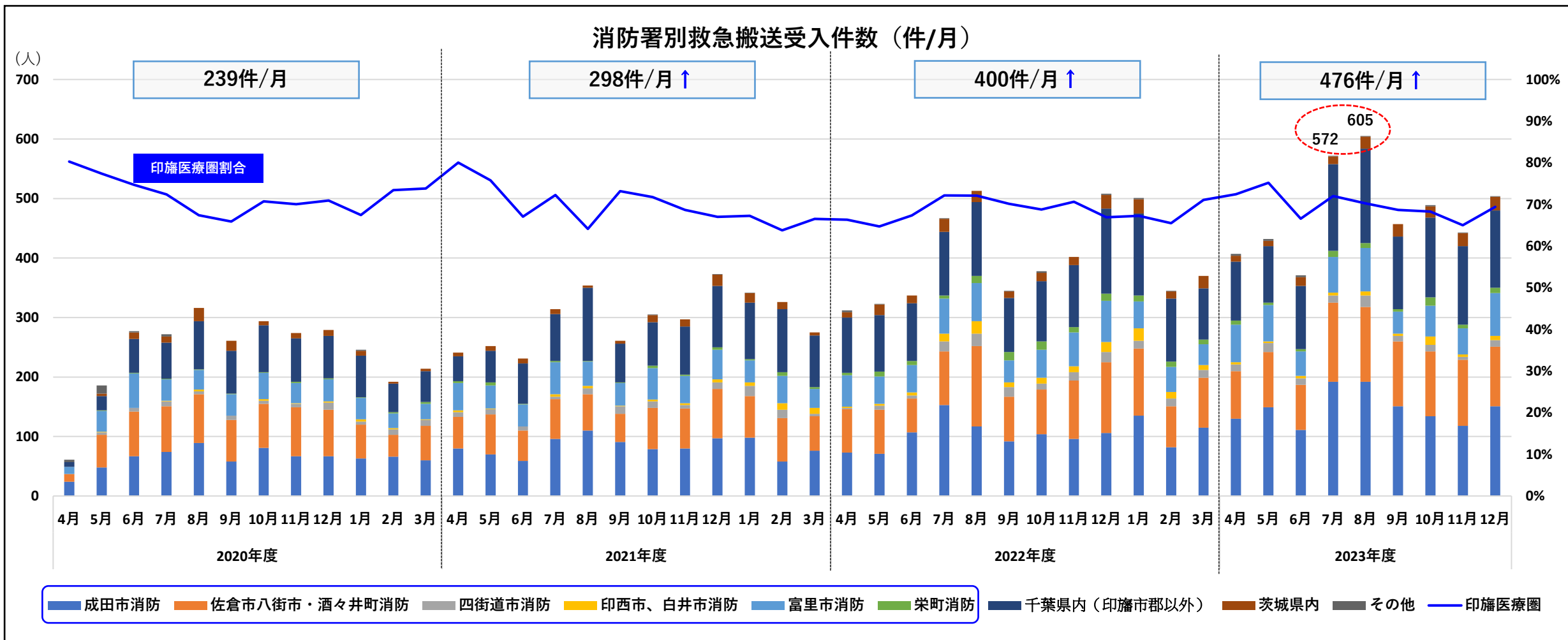
新型コロナウイルス感染症入院患者数の推移

- ・ 当院は開院以降、コロナ患者の入院受入・対応について、2類時は呼吸器内科中心の対応であったが、5類移行後は内科系全診療科で分担し対応にあたっている。
- ・ 2023年9月末までの累計延べ入院患者数は、中等症以下で22.9千人、重症患者は487人になる。



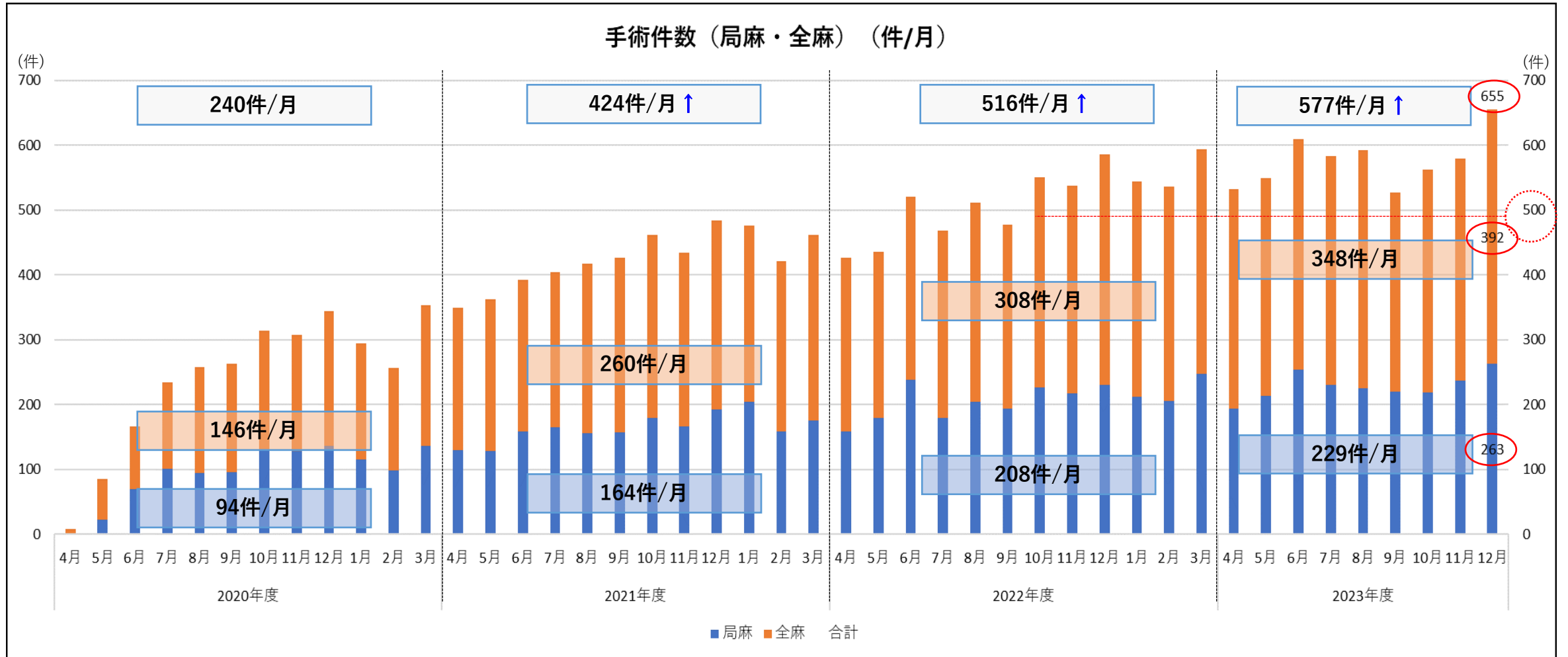
救急搬送受入状況（消防別）

- ・ 印旛医療圏に限らず、県内他医療圏、茨城県からの救急要請に対し積極的に受入れしており、受入件数は増加基調にある。2023年7,8月は各572件/605件応需。（印旛医療圏の受入は約7割）



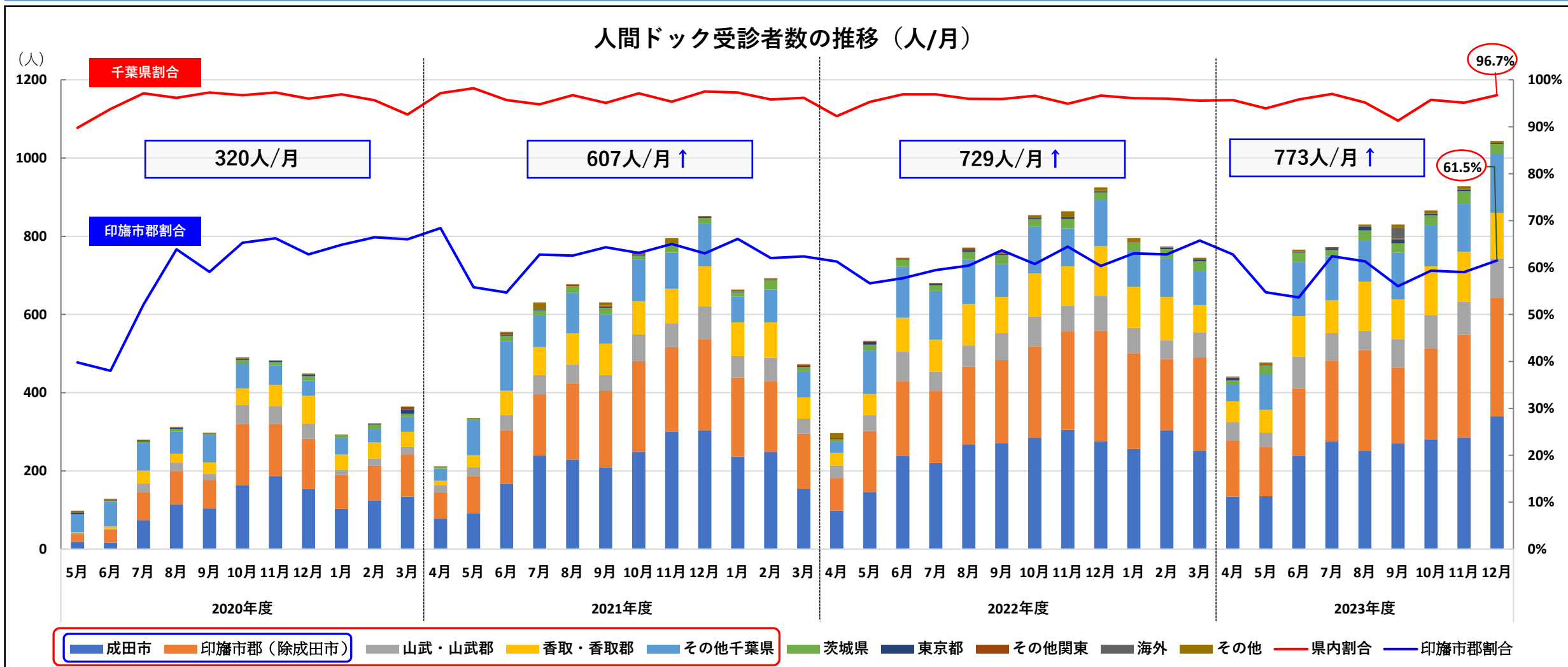
手術件数

- ・局麻を含む手術件数は、2022年10月の手術室の増室（13室）及び看護師の配置見直し等による効率運用に努めた結果、2023年度には月600件内外まで増加している。



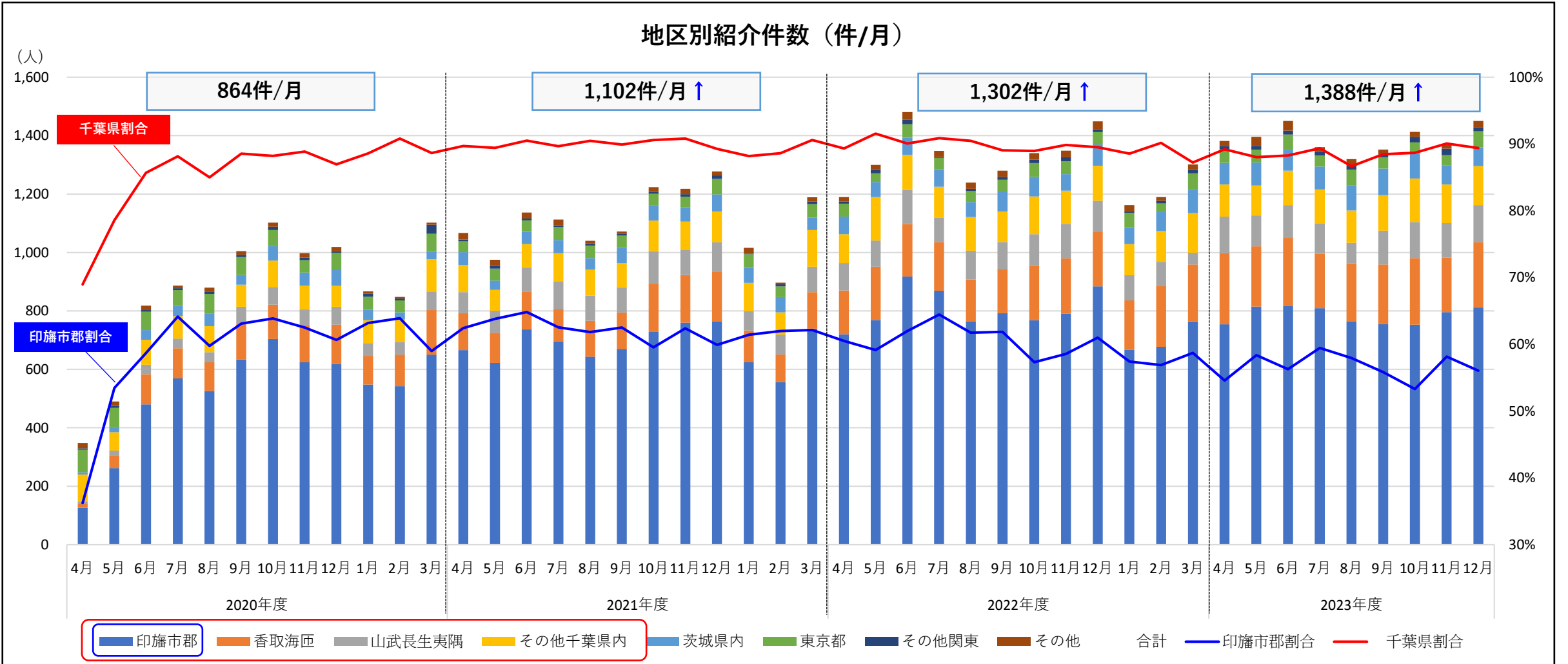
人間ドック受診者数（人/月）

- ・年度別の月平均受診者数は、2021年度607人、2022年度729人、2023年度（9カ月）773人と増加傾向。なお、毎月6割程度が印旛市郡地区の受診者（受診者の95%超が千葉県民）。



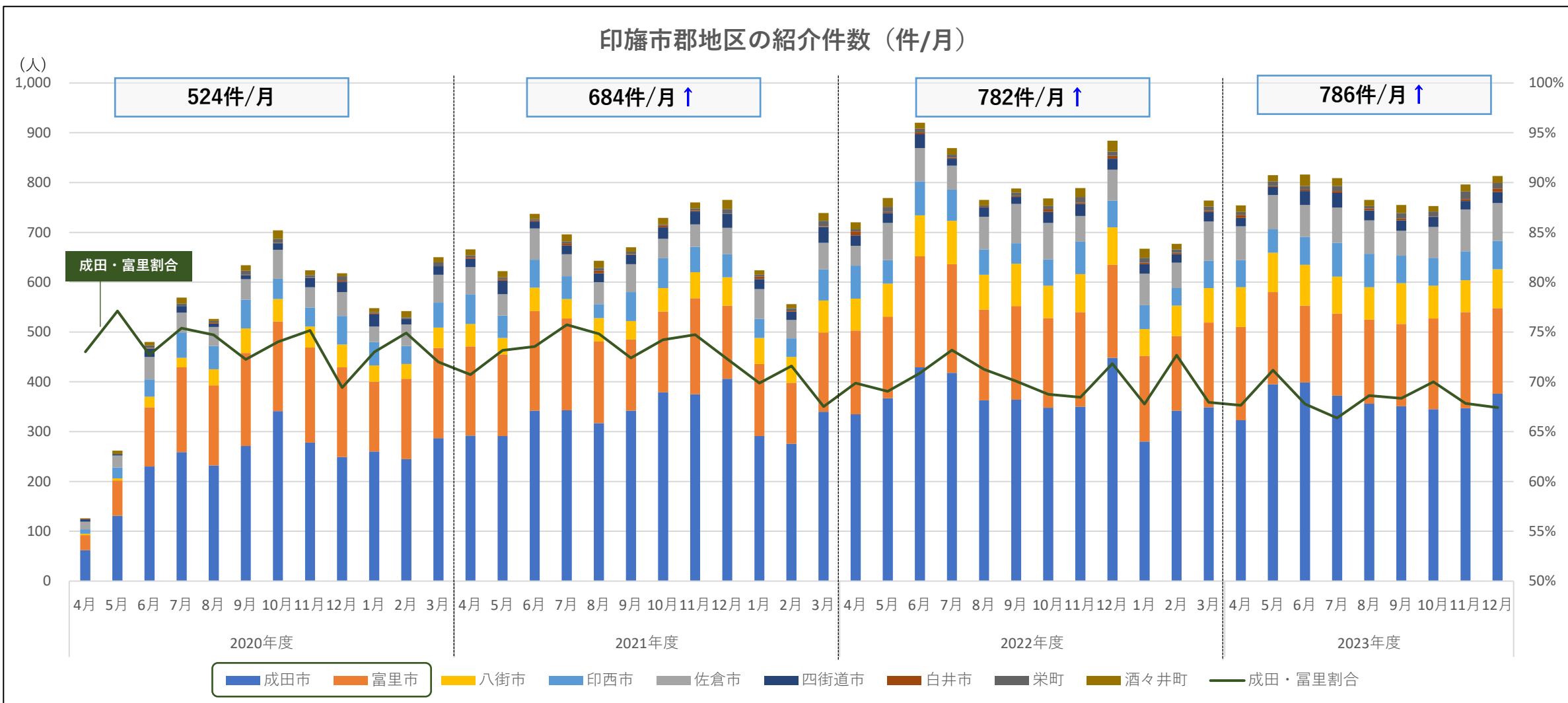
地域医療機関からの紹介件数の状況（件/月）

- 地域の医療機関からの紹介患者数は毎年度増加傾向にあり、2023年度は月1,400件弱で推移している。印旛医療圏の医療機関からの紹介は全体の6割弱となる。



(参考) 印旛市郡地区医療機関からの紹介件数の状況 (件/月)

- ・ 印旛市郡地区の割合では、近隣の成田市・富里市の医療機関からの紹介が7割程を占める。
 (2023年度：印旛市郡を100%とし、成田46.1%、富里22.2%、印西7.3%、佐倉8.6%、八街9.5%、栄1.2%、酒々井1.9%、四街道2.7%、白井0.5%)



症例報告会（地域医療機関向け）の開催状況

・2023年度は感染対策を講じ、対面形式にあわせ、講演・懇談会の二部構成で開催。

開催日	診療科	内容	担当医師数	参加者数
2023年5月20日	産科・小児科 小児外科・脳神経外科	各診療科の診療状況・ 他	4	23
2023年10月7日	婦人科 乳腺外科 放射線科	各診療科の診療状況・ 実績・紹介	4	18
2023年11月9日	精神科 小児科 リハビリテーション科	小児神経発達支援研修	3	来院 1 オンライン 14
2023年12月7日	脳神経外科 耳鼻咽喉科 頭頸部外科	各診療科の診療状況・ トピックス	4	28
2024年2月24日 (予定)	腎泌尿器外科 腎臓内科	各診療科の診療状況・ トピックス	8	22 (予定)

地域医療機関での実習・研修

- ・医学部生の臨床実習について、地域の医療機関の協力を得て実施している。
- ・また、今後の臨床研修医の増加に伴い、地域医療研修先等を増やしていく必要がある。

当院外での**医学部生の臨床実習**の状況（2023年度）

精神科実習（1人当たり8～10日）：132名参加
成田赤十字病院（成田市）
鳳生会成田病院（成田市）
国府台病院（市川市）
学而会木村病院（千葉市）
千葉県精神科医療センター（千葉市）[～10/31]
千葉県総合救急災害医療センター（千葉市）[11/1～]

小児科実習（1人当たり4～15日）：142名参加
成田赤十字病院（成田市）
渡辺小児科医院（成田市）
鈴木こどもクリニック（富里市）
千葉県こども病院（千葉市）
感染症実習（1人当たり5日）：7名参加
成田赤十字病院（成田市）

当院外での**臨床研修医**の臨床研修

プログラム連携先（1人当たり1か月）：9名参加
鳳生会成田病院（成田市）
国保多古中央病院（多古町）
千葉県立佐原病院（香取市）
さんむ医療センター（山武市）
いすみ医療センター（いすみ市）

市民公開講座の開催状況

・2023年度は、7回の市民公開講座の開催に加え、糖尿病教室を継続開催している。

開催日	テーマ	担当診療科	参加者数
2023年	2月4日	耳鼻咽喉科、皮膚科	78人
	5月13日	小児科・栄養室	49人
	7月15日	整形外科	174人
	7月28日	リハビリテーション科	87人
	9月2日	予防医学センター	59人
	12月16日	耳鼻咽喉科、皮膚科	154人
2024年	2月10日	耳鼻咽喉科	32人

5/13 (土) 市民公開講座
『小児科医と管理栄養士による「こどものアレルギー」のお話』

アレルギー性皮膚炎や食物アレルギーをはじめとする「こどものアレルギー」について市民公開講座を開催します。皮膚科の医師から、最新の治療法、難治症やアレルギーを引き起こすポイント、食事中のアレルギーを持つ場合の食事療法のポイント、アレルギーと管理栄養士の役割についてお話しします。

【日時】5月13日(土) 13時30分～15時 (開場13:00)
 【会場】国際医療福祉大学成田病院・4F 成田国際ホール
 【講師】小児科: 山出 史也 医師、栄養室: 高村 晴美 管理栄養士
 【お申込み方法】0476-35-5600 (代表) または QRコード から

13:30～ 講演①
 『こどものアレルギー、基本と最新のピクセス～アレルギー性皮膚炎・食物アレルギーのお話を中心に～』
 山出 史也 小児科 医師
 国際医療福祉大学成田病院 小児科 医師

14:30～ 講演②
 『管理栄養士がお伝えする、アレルギーの予防と食物アレルギーのおはなし』
 高村 晴美 管理栄養士
 国際医療福祉大学成田病院 栄養室 管理栄養士

国際医療福祉大学成田病院 0476-35-5600 (代表)

7/15 (土) 市民公開講座
『腰・肩・足の痛み、放っておいて大丈夫ですか?』

腰、肩、足の痛みは日常生活に支障をきたすなど、整形外科の診療が中心となりますが、適切な治療が受けられずお悩みの方も多いです。一般的な治療のほかに、どのようなお悩みにも対応できるような治療法についてお話しします。

【日時】7月15日(土) 13時30分～15時 (開場13:00)
 【会場】国際医療福祉大学成田病院・4F 成田国際ホール
 【お申込み方法】QRコードからまたは ☎0476-35-5600 (代表)

講演① 13:30～13:55
 『その腰痛、放っておいても大丈夫?』
 八木 満 医師
 国際医療福祉大学成田病院 整形外科部長、脊髄神経センター長、国際医療福祉大学 医学部 整形外科教授 (代表)

講演② 13:55～14:20
 『歩ける未来への第一歩～股関節、膝、足の痛みとその治療～』
 大谷 慎也 医師
 国際医療福祉大学 助手

講演③ 14:20～14:45
 『あなたの肩、痛みを我慢していませんか?』
 谷口 岳 医師
 国際医療福祉大学 助手

14:45～15:00 リハビリテーションスタッフによる運動アドバイス
 ～いっしょに運動してみよう～

国際医療福祉大学成田病院 0476-35-5600 (代表)

7/28 (金) 市民公開講座
『大学病院で老化を予防する!～健康長寿の秘訣、お伝えします～』

いよいよ高齢化が進んでいく中で、老化を予防することは、健康長寿の秘訣です。老化を予防するための具体的な方法、最新の研究、最新の治療法、最新の予防法についてお話しします。

【日時】7月28日(金) 15時～16時 (開場14時30分)
 【会場】国際医療福祉大学成田病院・4F 成田国際ホール
 【お申込み方法】QRコードからまたは ☎0476-35-5600 (代表)

講演① 15:00～15:10
 『老化予防におけるリハビリテーションの重要性』
 角田 亘 医師
 国際医療福祉大学成田病院 国際医療福祉大学 理学療法士リハビリテーション学教授 (代表)

講演② 15:10～15:20
 『健康に歩き続けるための運動療法』
 望月 拓郎 理学療法士

講演③ 15:20～15:30
 『いきいき過ごすための認知症予防』
 平井 大策 作業療法士

講演④ 15:30～15:40
 『深く寝るための寝具・睡眠衛生』
 大森 智裕 医師
 国際医療福祉大学 助手

国際医療福祉大学成田病院 0476-35-5600 (代表)

9/2 (土) 市民公開講座
『身近にある漢方の知識～残暑を乗り切って秋冬に備えよう～』

身近な漢方薬や漢方食品の知識、漢方薬の使い方、漢方薬の効果を高めるためのポイントについてお話しします。

【日時】9月2日(土) 13時30分～15時 (開場13:00)
 【会場】国際医療福祉大学成田キャンパス 5棟 5階 (大講義室1)
 成田市公津の杜4-3 ☎0476-35-5600 (代表) 成田キャンパス 5棟5階 (大講義室1)
 ※アクセスと地図は裏面に掲載いたします。
 ※会場は病院ではありません(ご来校)となりますのでご注意ください。

【講師】漢方専門医: 並木 隆延 医師
 国際医療福祉大学 漢方学 准教授

13:30～ 講演
 並木 隆延 医師
 国際医療福祉大学成田病院 漢方学 准教授

14:30～ 質疑応答

国際医療福祉大学成田病院 0476-35-5600 (代表)

12/16 (土) 市民公開講座
『健康長寿は耳から「きこえ」と健康・認知症の意外な関係』

「きこえ」と「健康長寿」は意外な関係があることをご存知ですか? 最新の研究や最新の治療法についてお話しします。

【日時】12月16日(土) 13時30分～15時 (開場13:00)
 【会場】国際医療福祉大学成田病院・4F 成田国際ホール
 【講師】耳鼻咽喉科 野口 佳裕 教授、我那覇 章 教授、言語聴覚士 伊藤 太枝子
 【定員】100人 (先着順) / 無料
 【お申込み方法】QRコードからまたは ☎0476-35-5600

講演① 13:30～
 『「きこえ」と健康・認知症』
 野口 佳裕 講師
 国際医療福祉大学成田病院 耳鼻咽喉科 教授

講演② 14:00～
 『「きこえ」を取り戻そう～あたらしいきこえの治療～』
 我那覇 章 講師
 国際医療福祉大学成田病院 耳鼻咽喉科 教授

講演③ 14:30～
 『「きこえ」とフレイルの関係』
 伊藤 太枝子 言語聴覚士
 国際医療福祉大学成田病院 リハビリテーション室 言語聴覚士

国際医療福祉大学成田病院 0476-35-5600 (代表)

2024年 2/10 (土) 市民公開講座
『千葉県花粉症の重症化ゼロ作戦～スギ・ヒノキ花粉症の対策～』

国民の2.5人に1人が罹患し「現代の国民病」といわれる花粉症の季節がいよいよ始まり、日本耳鼻咽喉科頭頸部科学会では、2020年までに国民生活の質の向上に貢献することを目的として「花粉症重症化ゼロ作戦」を推進しました。そのリーダーを務める当院の耳鼻咽喉科部長 岡野光博教授が「花粉症治療の最新情報」についてお話しします。

【日時】2月10日(土) 14時30分～15時30分
 【会場】国際医療福祉大学成田病院・4F 成田国際ホール
 【講師】耳鼻咽喉科部長 岡野 光博 教授
 【定員】150人 (先着順) / 無料
 【お申込み方法】QRコードからまたは ☎0476-35-5600

【専門分野】
 鼻咽喉科一般(内視鏡下鼻内手術、アレルギー性鼻炎、好酸球性鼻炎、鼻、嗅覚、嗅覚・嗅覚障害など)

岡野 光博 医師
 国際医療福祉大学成田病院 耳鼻咽喉科部長
 国際医療福祉大学 医学部 教授

日本耳鼻咽喉科学会認定専門研修指導医 耳鼻咽喉科専門医、日本アレルギー学会認定指導医 アレルギー専門医、鼻科専門医

国際医療福祉大学成田病院 0476-35-5600 (代表)

糖尿病教室 「糖尿病・代謝・内分泌内科」	(参加人数)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
		2023年	28	28	43	—	51	—	37	—	49	—	55	—
		2024年	42	—										

今後の主な計画

- ・病院機能の拡充のほか、基幹型臨床研修病院として教育の側面からも役割を果たしつつ、グループによる老健施設等の開設を通じて、地域への更なる包括医療の提供を進めていく。

① 全病床（642床）稼働に向けた体制整備

- ・2023年10月病院機能評価を受審。今後、特定機能病院申請予定。運用病床の順次拡大。

② 臨床研修医の受入（留学生プログラム分を含む）

- ・2023年度35人の臨床研修医を新たに受入れ、現在44人在籍（1・2年目）。
- ・2024年度も同等数の新臨床研修医を受入れる方向で準備中。

③ (福)邦友会 成田老年医療福祉センターの開設（敷地 2,127坪・延床 約2,450坪）

- ・成田病院に隣接。2025年春の開設に向けて準備中。

（地上5階建・計210床。特別養護老人ホーム100床/介護老人施設100床/短期入所10床）

④ 薬学部の開設及び薬学部棟の新設

- ・2024年4月に公津の杜成田キャンパスに薬学部を開設予定。
- ・また、新たに成田病院隣接地に薬学部棟を新設する計画。（2024年10月頃着工予定）